



# DMI 国際ろう者支援会 日本

2017 年 夏号

## 第7回DMI国際大会、ノルウェー 7th DMI International Conference, Norway

第7回DMI国際大会は2017年6月12-16日にノルウェーで開催され、日本からは9名（ろう者6名と健聴者3名）が参加しました。25ヶ国から140名ほどが出席しましたが、アフリカからの参加予定者は多数のビザ取得が間に合わず、シリアで働いている2名のビザも却下されたことが残念でした。

もう1つ残念だったのは、ミューアご夫妻がこの大会に出席できなかったことです。ネヴィル先生は飛行機に乗っている時からひどい出血が始まり、ノルウェー到着と同時に入院せざるを得ませんでした。出血は治まって2日後に退院が認められましたが、1週間は外出することができませんでした。それでも最後の1日半は大会に来ることができ、その時は誰もが喜びました。ご夫妻のために引き続き祈りましょう。お二人はオーストラリアのメルボルンに戻られ、ネヴィル先生は入院して放射線治療を受けておられます。

ケニアのDMIリーダーであるジョセファット・ムロンゴ牧師が毎朝デボーションで話をされ、各国の報告が続きました。午後には創造論と進化論、ヨーロッパのろう者クリスチャン連盟（EDCA）、マクラメプレスレット作り、宗教あるいは信仰の自由、等のようなトピックをカバーするワークショップが行われました。スターヴァンの小さな町を観光する時間や、水曜日には午後のクルーズもありました。共に過ごし、共に分かち合い、共に祈り、共に歌うことを楽しんでいる大勢のろう者の兄弟姉妹達の姿を見られたことは素晴らしかったです。

ここから先は大会に参加した日本人二人の感想文です。どうぞDMIで働く人達と、彼らが助け、導く人々のために引き続きお祈りください。必要とされていること全てが満たされますように。支援を続けてくださっている皆さんに感謝します。主の豊かな祝福がありますように。



ノルウェーへの歓迎  
Welcome to Norway

### 国際大会に参加して（感想）#1

佐世保ローア・バプテスト教会  
湊崎眞砂

見よ。兄弟たちが一つになって共に  
住むことは、なんというしあわせ、  
なんという楽しさであろう。

（詩篇133：1）

第7回DMI国際大会が6月12日（月）から16日（金）にかけて



通訳している湊崎先生  
Rev. Minatozaki interpreting

ノルウェーのスターヴェルンに於いて主の祝福の中に行われました。スターヴェルンは美しい町と海と港があり、ゆっくりと散歩ができました。また、シタデル島と祈念館に見学に行くことができました。

この度の大会には、25ヶ国から多くのろう者や健聴者が参加されました。170名ほどの参加が予定されていましたが、ビザを取得出来ないろう者が30名ほどいたために参加出来ずに甚だ残念でしたが、結果140名ほどの参加者となりました。アジアからは日本、韓国、中国、フィリピン、バングラデシュ、ミャンマー、ヨルダン等、ヨーロッパからはノルウェー、オランダ、イギリス、デンマーク、スイス、オーストリア、ドイツ、イタリア等、アフリカからはエジプト、ケニヤ、タンザニア、ウガンダ、コンゴ、ザンビア等、オーストラリアなどからもろう者牧師や健聴者のリーダーたち及び信徒たちが集い、主にある兄弟姉妹と会い、交わる機会が与えられたことは、私自身、大きな喜びがありました。また、オーストラリアやケニヤやウガンダやタンザニアやザンビアやミャンマーや韓国やフィリピンやイギリスから来られたろう者たちと久しぶりに再会出来、共にハグし、握手し、再会の大きな喜びを分かち合うことができました。

この大会のテーマは「父の愛する息子、娘」でした。聖書箇所は「わたしはあなたがたの父となり、あなたがたはわたしの息子、娘となる、と全能の主が言われる。」(Ⅱコリント6章18節)でした。メインスピーカーであるケニヤろう者牧師ジョセフアット・ムロンゴ先生は「父の愛」と「父の心」と「父の霊」というタイトルで素晴らしい、またとても分かりやすいメッセージを聞かせて頂き、とても恵まれ、励まされました。

私は、朝のデボーションと礼拝と宣教報告とワークショップと観光などで日本ろう者たちのために通訳の奉仕させて頂きました。他の通訳者もおられないために初めから終わりまで一人で拙いながらも通訳を奉仕させて頂きました。主が力の足りない私を守り支えて下さり、日本ろう者たちも寛容と忍耐をもって聞いて下さったこと本当に感謝します。

ザンビアやウガンダのろう者たちが手話による賛美を披露しました。彼らの賛美は、とても明るく笑顔で踊りながら賛美しておられました。その心からささげる賛美に私たちも共に心を合わせて賛美しました。

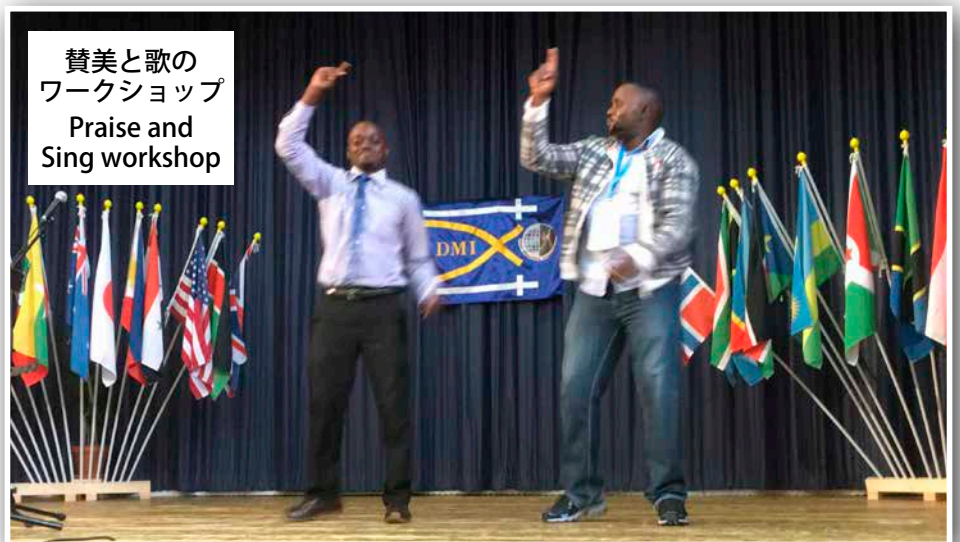
イタリアはカトリック教国ですから、今までイタリアにはろう者教会は無いと思っていましたが、イタリアろう者の宣教報告によると、イタリアの南のシチリア島にはろう者教会が出来たとの報告を聞きました。またシチリア島だけではなく、イタリア本土にもろう者教会があると伺い本当に驚きました。主の素晴らしいご配慮と働きに感謝しつつ、主の御名をほめたたえます。

バングラデシュの健聴者の報告によると、バングラデシュにはろう者教会は無いので、これからろう者教会を建設するために伝道に励みたいとのことです。バングラデシュろう者たちの魂の救いのために切実に祈ることが必要だと痛感させられました。

エジプトの健聴者の報告ではエジプトはイスラム社会ですから、イスラム教徒からキリスト教徒に改宗したら殺されても構わないとされています。キリスト教徒からイスラム教徒に改宗しても問題は無いということでイスラム教徒への伝道の困難さを感じます。しかし、そのような環境の中にあっても、ひとりのろう者は、献身し近々牧師になれると伺い、この地においても主の計らいとみわざを聞くことができ主をほめたたえます。

ミャンマーろう者ナイン兄とは18年振りに再会出来て感動し、大いなる喜びのときでした。

私たち夫婦は、1999年にタイのチェンマイに於ける第2回DMI国際大会後にミャンマーに参りました。当時のナイン兄は20歳で私たちがミャンマーに滞在時にお世話になりました。それからナイン兄は結婚し二人の子供たちに恵まれ、ヤンゴン聾学校にて教師の務めをなした経緯があります。ナイン兄は、現在38歳、ヤンゴンでミャンマーの最初の



聴力のある人と同じようにはありませんが、ろう者は歌が好きで同じように楽しめるものですし、主の御前で歌い、踊っている時の彼らの表情に主の喜びを見ることができます。

Deaf people love to sing, not the same as hearing people, but equally as enjoyable, and you can see the joy of the Lord on their faces as they sing and dance before the Lord.



ろう者牧師になっているというのを聞き、大変嬉しかったです。ナイン兄の心のうちに主に対する働きの重荷を与えてくださり、導いてくださった主をほめたたえます。

ヨルダンのろう者のお話しによると、聖書に関しては主イエス様がヨルダン川でバプテスマを受けられたこと、モーセの終焉の地ネボ山、ヤボク、エリヤ等が沢山あり、是非聖書のゆかりの地ヨルダンに見学に来てくださいということを勧めてくださいました。私たちはイスラエル、エジプトに行ったことがあります、ヨルダンに行ったことがありませんので、是非行きたいと思っています。

ウガンダのろう者たちは、いつもJDBFからウガンダろう聖書学校へサポートを受けていることを生前ブルメ師から何回も伺っていましたとのことで、お礼の言葉をいただきました。ダビデ兄はブルメ先生の導きによって最初の四人の神学生の中にいるという情報を聞き、大変嬉しかったです。

ダビデ兄は現在ウガンダのカンパラろう者教会の牧師をしているということです。ウガンダにおいても主が、ろう者に対してもあわれみを示し、みことばを伝える者を備えてくださっています。その主のみわざを褒め称え、感謝し、主の御名を崇めます。

2泊3日の間、聴覚障がい者のトレーニングセンターに行きました。山々と自然に囲まれたとても美しいところです。解散する前にオーストラリア人の牧師による聖餐式が行われました。ウガンダのろう者伝道師は賛美をささげてくださいました。

「ああ 素晴らしいイエス様  
何が心をきよめられるでしょうか？  
それはイエス様の血だ」

と繰り返して賛美をしました。アーメン！私は通訳しながら感動しました。

私たちは伝道師の手話賛美の指揮に従って賛美しながら聖餐の恵みに与れて感謝を捧げました。

聖餐式後に、皆々様とハグし、握手しながら別れました。

今回は2020年にアフリカのケニアと決まりました。私たち夫婦は主の御心ならばケニアにも行きたいと思っています。



次はケニアで2020年！  
Next, Kenya in 2020!



日本からの二人とミャンマーの奉仕者三人  
Two from Japan with three Myanmar workers

## 国際大会に参加して（感想）#2

若狭近子

2017年6月12日～16日とオプション週末体験6月16日～18日の参加し体験したことは、私にとっては今までにない最高の素晴らしい時となりました。海外のろう者との出会いを楽しみにしておりました。長い間25才の時から日本国内のろう者との交わり、現在に至るまで関係は続いております。

日本は四方を海で囲まれており孤立した文化、歴史が長くあります。その為に一般的に内向的ですし、ろう者の方々が海外に行く機会はありません。

実は今年1月6日主人は67才で天に召され、長い間車イスの生活でした。長年の介護生活もあり、私自身肉体的、精神的に疲れ果てておりました。その様な時、山本兄弟がDMI国際大会のチラシを下されたのです。

その時、即座に行きたいと思いました。新しい主からのチャレンジだと思ったのです。体調はすぐれておりませんでした、この大会に向けて第1に自分の体調を整える事を目標にしました。

チラシもらう前からろう者にアルファベットの手話を教え、自分自身も覚え、少しずつ英語も勉強初めておりました。

第2に海外の福祉の充実していない国々のろう者はどうしておられるのか、どのように生活しておられるか、興味がありました。今回DMI国際大会はまさしく神様からのプレゼントと思っています。

又DMIの働きにも感動でした。充分理解が出来てはいませんが、ろう者を包括しての援助(金銭的だけでなく、生きる為の手段方法、教育etc) このような働きがあるのを知って本当に嬉しかったです。



BBQでのミューご夫妻  
The Muirs at the BBQ

ろう者の1人1人が生き生きしておられ、言葉は出来なくてもろう者の生活には限界がないように思われました。

内側から相手に伝えようとしている姿、交わりは家族でした。交わりも出来た事は今までで最高の楽

しい時でした。

肉体的にも守られ、今でも目を閉じるとノルウェーでの出来事が思い出されます。ノルウェーの国にも感謝。スタッフの皆様にも感謝、愛する1人1人に感謝します。



**Deaf Ministries International**

**DMI 日本部**

Web: <http://japan.deafmin.org>

Email: [info@japan.deafmin.org](mailto:info@japan.deafmin.org)

Tel/Fax: (代表:マドレ) 075-871-8562

(スポンサーシップ:竹田) 090-7879-2523

(会計:マーシャル) 090-6664-8655

郵便 (大阪インターナショナルチャーチ):

〒 540-0004 中央区玉造 2-26-47-407

**DMI 国際本部 (オーストラリア)**

Web: <http://deafmin.org>

Email: [muir@deafmin.org](mailto:muir@deafmin.org)

P.O. Box 395 Beaconsfield Vic. 3807 Australia

Tel: +61-3-5940-5430

Fax: +61-3-5940-5432

## DMI JAPAN Summer 2017 - English -

The 7th DMI International Conference was held from June 12-16, 2017 in Norway. Nine people from Japan attended – six Deaf and three hearing. There were about 130 who attended from more than 20 countries. We were disappointed that visas for many Africans did not come through in time, and the visas for our two workers in Syria were declined.

Another disappointment was that Neville and Lill could not attend the whole conference. On the plane on the way to Norway, Neville began to hemorrhage, and as a result was admitted to hospital on arrival in Norway. The bleeding was stopped and he was

allowed to leave the hospital after a couple of days, but was housebound for a week. But everyone rejoiced when they were able to come to the conference for the last day and a half. Continue to pray for this couple. They are back in Melbourne now, and Neville is in hospital having radiotherapy.

Pastor Josephat Mulongo, leader of DMI in Kenya, spoke at the devotion every morning, and this was followed by reports from each country. In the afternoon there were workshops covering topics like creation & evolution, the European Deaf Christian Alliance, macramé bracelet making, freedom of religion or belief,

etc. There was also time to go sightseeing around the small town of Stavern, and an afternoon cruise on Wednesday. It was so good to see so many Deaf brothers and sisters enjoying being together, fellowshiping together, praying together, and singing together.

I'll let the rest of this letter be two reports from Japanese who attended the conference [*sorry, no English translation of reports*], but please continue to pray for DMI workers and the people they minister to and teach. Pray that all their needs will be met. Thank you for your continued support and the Lord bless you abundantly.